

第2回彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相談員専門研修 実施報告

3月4日(金)に標記研修会を実施し、相談員、社協職員等74名に参加いただきました。

日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男氏に「セーフティネット事業に求められるCSWの視点」をテーマに講義いただき、学びを深めると共に社会貢献支援員の実践報告により、「他機関との連携」のあり方を考える機会となりました。

<講義内容の抜粋>

- CSWとは、**個別支援**と**地域支援**を結び付けていくこと。セーフティネット事業としてできることを行い、(例えば、経済的な援助により生活の基盤を安定させる)、さらに相談者が社会とのつながりのなかで幸せに暮らすために何ができるか、という視点も必要
⇒ 地域支援を行っている方々とつながり、**チームで実践**していくことが大切！
- アセスメントとしては、「個人だけでなく**環境**も見る」「問題点だけでなく**有する力(強み・ストレングス)**も見ること」が大切
⇒ サービス志向でなく、**ニーズ志向で考えることで、新たな取り組み**にもつなげることができる。

<参加者の声(アンケートより)>

- 個別支援と地域支援のつながりなど、CSWの視点・役割をととても分かりやすく説明いただき参考になった。
- 改めて、社会福祉法人として、地域との繋がり的重要性を学べた。
- 他機関との関わりを深めることで解決に向かっていけることが分かった。また、相手の視点を考えることでより良い支援を行えると感じた。

推進協議会 役員改選

2月25日の運営委員会において、令和4年3月7日から2年間の任期となる役員改選が行われました。

今期の推進協議会会長は、引き続き県経営協会長の池田徳幸氏に御尽力いただくこととなりました。副会長、幹事長、副幹事長につきましては以下のとおりです。皆様よろしくお願いいたします。

【運営委員会】

会 長 社会福祉法人名栗園 理事長 池田 徳幸 氏
副会長 社会福祉法人徳慈会 理事 遠井 美智子 氏
副会長 社会福祉法人埼玉県ブルーバードホーム 理事長 長岡 均 氏

【幹事会】

幹 事 長 社会福祉法人埼玉県ブルーバードホーム 理事長 長岡 均 氏
副幹事長 社会福祉法人邑元会 常務理事 神戸 章 氏

衣類バンク事業

■活動状況

実施施設では、施設の利用者や近隣の住民から集めた**春・夏服**を袋詰めし、事務局へ発送する作業を行っています。

事務局では3月1日から10日までの間に約**280点**の衣類を受付けました。(3月25日まで受付)

引き続き衣類の収集をお願いいたします。



〔発行・問い合わせ先〕
埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会 事務局
(社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 生活支援課)

推進協 HP <https://safety.fukushi-saitama.or.jp/>

